

## 2013年度 日本文化人類学会 第7回 理事会 議事録

日時：2014年2月16日（日）14:00～17:30

会場：上智大学 四谷キャンパス2号館2-630a

出席者：小泉、赤堀、上杉、春日、栗本、佐々木、棚橋、松田、三尾、山本、森山、和崎

委任状提出：綾部、小田、亀井、岸上、窪田、清水、曾我、高倉、出口、中谷

欠席者：池田

### 〔承認事項〕

1. 2013年度第6回理事会議事録（案）を承認。
2. 新入会員（2名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上、事後承認。
3. 第11回（平成26年度）日本学術振興会賞受賞候補者の学会推薦依頼が届いたことを報告。過年度と同様、理事・評議員による候補推薦、総務会および担当委員による選考を経て、期日までに日本学術振興会宛てに学会推薦を実施することを承認。
4. 科学技術振興機構よりJ-STAGE掲載予稿集の一括DOI登録を行うとの案内が届き、総務会で承認したことを報告の上、事後承認。

### 〔報告事項〕

1. 会長報告
  - ・第10回日本学術振興会賞授賞式（2月10日）に出席したことを報告。
  - ・学会50周年記念事業に関わる理事を中心に第25期理事の2014年度総会までの実働を再確認。会長については総会で交代することを再確認。
2. 庶務理事報告
  - ・観光庁、日本政府観光局（JNTO）、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）の共同実施によるアンケート「学会・業界団体等の国際活動及び国際会議開催意向調査」に回答したことを報告。
  - ・第26回評議員選挙管理委員会報告として、投票用紙の発送が完了したことを報告。
3. 広報理事報告
  - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき16件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
  - ・WCAAから寄せられる情報について、JASCA-INFO配信や学会HPでの対応方法を検討中であることを報告。
  - ・会員から会員向けメーリングリストに関する指摘があり、JASCA-INFOの登録アドレスリストから1会員のアドレスが削除されていることが判明したとその経緯を報告。また、再発防止のための対応策の提案を同会員から得たことを報告。審議の結果、情報管理全般に一層厳格な姿勢で臨むことが確認され、本件については総務会・広報情報化委員会で対応することが承認された。
4. 各種委員会報告
  - ・『文化人類学』編集委員会：78巻4号の進捗状況について報告。引き続き投稿の呼びかけを要請。また、特集に対するプレ査読導入後に特集自体が取止めとなったケースがあったことを報告。各理事に対し、特集の企画案があれば委員を通じて提出するよう依頼。
  - ・JRCA編集委員会：Vol.14について、翻訳の遅れに起因して刊行が幾分遅れる可能性があることを報告。
  - ・国際連携委員会：小泉会長より、IUAES 2016（中間会議）のクロアチア開催が決定したことを報告。
  - ・研究大会運営検討委員会・研究発表査読委員会：第48回研究大会の発表要旨の査読が完了したことを報告。
  - ・倫理委員会：引き続き倫理規程に関する情報収集を進めていることを報告。
  - ・文化人類学教育委員会・次世代育成セミナー実施運営委員会：「次世代育成セミナー」について、これまでの全発表者を対象に行ったアンケート調査の結果を報告。この結果に基づき「若手支援検討のためのワーキンググループ」において3月中に検討を行う予定であることを報告。また、発表者の交

通費支援等の今後の要検討事項について報告。

#### 〔審議事項〕

1. 課題研究懇談会の新規採択について
  - ・課題研究懇談会担当委員会による選考結果が報告され、審議の結果、原案のとおり承認された。選考結果については各申請者に個別に通知することを報告。通知内容については課題研究懇談会担当委員会にて検討することとした。
  - ・2013年度会計報告・事業報告（2014年度事業計画書を含む）の提出（3月31日事務局必着）について、会計理事及び連絡担当理事から各代表者宛てに依頼メールを送信済み（1月27日付）であることを報告。
2. 第9回日本文化人類学会賞および第9回日本文化人類学会奨励賞受賞候補者の推薦について
  - ・学会賞選考委員会による第9回学会賞の選考経緯と選考結果の報告に基づく審議の結果、原案のとおり承認された。
  - ・奨励賞選考委員会による第9回奨励賞の選考経緯と選考結果の報告に基づく審議の結果、原案のとおり承認された。
  - ・両賞の選考結果についてはJASCA-INFO及び学会HPで周知を行うことを確認し、配信文案は総務会で作成することとした。
  - ・学会賞選考委員会より、今回の選考を経て明らかになった問題点があること、日本文化人類学会学会賞選考規則の改訂案を次回理事会において次期理事会への申し送り事項として提示する予定であることが報告された。
3. 『文化人類学』の寄稿規程と査読規程の改定について
  - ・松田理事より、『文化人類学』の「寄稿規程・執筆細則」及び「査読規程」について、①寄稿条件として二重投稿を認めないことの明記、②新規投稿区分「研究展望」の創設の2点を柱とする改定案が提示され、審議による文言調整を経て、承認された。
  - ・改定の施行日は2014年3月16日とすることとした。
  - ・改定後の「寄稿規程・執筆細則」及び「査読規程」については『文化人類学』78巻4号及び学会HPに掲載し、併せて、編集委員長名でJASCA-INFOを通じて会員に周知することとした。
4. 『文化人類学』編集委託料の改定について
  - ・松田理事より、今後の消費税引上げおよび編集業務内容の複雑化を考慮して、『文化人類学』の編集委託業者に対する委託料の値上げについて提案があり、審議の結果、78巻4号から委託料を10%引上げることが承認された。
5. 国立情報学研究所電子図書館に係る申合せの改訂について
  - ・赤堀理事より、国立情報学研究所電子図書館に係る申合せの改訂について案内が届いたことが報告された。併せて2013年度に機関定額制へ移行した後の閲覧数、ダウンロード数が好調であることが報告され、審議の結果、平成26年4月1日以降次年度の申合せ条件の改訂は行わないことが承認された。
6. 学会50周年記念事業について
  - ・小泉委員長より、日本文化人類学会50周年記念事業に関し、学会50周年記念事業準備委員会で確認、検討された次の事項について資料に基づき報告がなされた。
    - ①財務小委員会委員長に白川千尋氏（大阪大学）が就任したことを報告。
    - ②パネルの応募状況と内容、企画パネル等について報告。
    - ③千葉県より貸付金が振り込まれたことを報告。併せて、寄附金募集、助成の申請及び獲得、後援名義使用申請等の状況について報告。
    - ④バンケットとレセプションの計画状況、来賓の挨拶依頼予定等について説明。
    - ⑤学会50周年記念国際研究大会の運営業務委託について数社から提出された相見積りが提示され、審議の結果、委託業者の最終選定については委員長一任とすることを確認。
    - ⑥学会50周年記念国際研究大会の参加登録料については参加申込み状況により調整し決定する予定であること、第48回研究大会参加者については追加料金の支払によって国際研究大会への参加も可能となるよう検討予定であることを報告。
    - ⑦ポスター、チラシの作成状況、ビデオプロジェクトの進捗状況について報告。
    - ⑧アルバイト及びボランティアの募集方法を検討中であることを報告。

⑨学会 50 周年記念国際研究大会の国外発表者に対する渡航費援助は申請方式とし、申請書の審査グループを設置したことを報告。

- 学会 50 周年記念国際研究大会と第 48 回研究大会の両方に参加予定の会員の参加登録について、混乱を避けるため、登録手続きに関するアナウンスを至急行うべきであるとの提案が出され、承認された。

#### 7. その他

- 三尾理事より、学会誌の販売を委託している丸善株式会社から消費税引上げ後の頒布価格について問い合わせがあったことが報告された。審議の結果、現在の税抜き本体価格 2,858 円に消費税 8%を加算した税込 3,087 円で販売することが承認された。
- 三尾理事より、今後の科研費予算の十全な確保のために、科研費の成果が日常生活や地域社会・経済に及ぼしている具体的な効果を可視化するための情報提供の呼びかけが文部科学省研究振興局学術研究助成課（文部科学省学術調査官会議経由）から成されたことが報告された。本件に関わって各理事に対する情報提供依頼を理事会メーリングリストで配信することが承認された。
- 2013 年度事業報告・2014 年度事業計画案について、各担当理事は 3 月 10 日までに事務局と棚橋理事へ原案をメールで送信することとした。また、2013 年度の支出状況と 2014 年度の予算要求について、各担当理事は 3 月 7 日までに事務局か三尾理事まで連絡することとした。
- 山本理事より、日本学術会議地域研究委員会人類学分科会において「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準文化人類学分野」を作成するにあたり、広く意見聴取を行うためのシンポジウムを 4 月に開催予定であることが報告された。

以上